



京都いいところどり

2005年



お精霊さまがかえっていきます

人々は静かに、街のあちこちで送り火を眺めます

きれいだけど、ちょっと寂しい京の夏の終わりです



豊臣秀吉が祀られています
馬印だった千成瓢箪の絵馬
どんな願いが込められているのでしょうかね

あぶり餅



今宮神社名物、あぶり餅

きなこをまぶした餅をあぶり、白味噌をぬります

二軒の茶屋はお客さんの長蛇の列

おばちゃんも大忙しです



六角堂にある、京のへそ石

京都の中心に位置するといわれる礎石です

道を造るとき邪魔になった六角堂は、自ら5丈動いたとか

おもしろい伝説ですね



たまたま見かけたお公家さんの行列
何か行事があったようです
優雅ですね



二条城にはたくさんの種類の木が植えられています

実のなる木、燃料となる木、用途はさまざま…

戦にそなえての機能性を持った庭が、今は色とりどりに紅葉し、人々の目を楽しませています



黄金色の銀杏の木を見ると、気分がぱっと明るくなります



御手洗川にかかる輪橋（そりはし）

難しい読み方ですね

横から見てもきれいです



保津峡沿いに走るトロッコ列車

保津川下りも有名ですが

保津峡から高尾までのウォーキングも楽しいです



沢歩きは楽しい

せせらぎを聞きながら、川辺でおにぎりを…

紅葉が目をたのしませてくれます



鷹峯 光悦寺

本阿弥光悦が徳川家康からこの地を賜り、芸術村にしたという
死後、お寺となり、今はこの地にひっそり眠っています



独特の組み方で有名な光悦垣
臥牛垣（ねうしがき）という別名もあるそうな…



立派なお家の立派な柿の木



どこへ続くのか
雰囲気の良い石畳の竹林
歩いてみたくなりました



店内では、おせんべいやかりんとうなど、昔懐かしいお菓子が並んでいました
瓶のジュース、久しく飲んだことないなあ・・・



清水周辺の土産物屋で見つけました
秋のおたべ、どうぞ？



御所からも遠い、わびしい暮らしにじっと耐え、自分の時代が来ると信じて過ごした地
5年間も幽棲したのだそう
今は実相院とともに紅葉の名所にもなっています



東山七条にあるお寺

長谷川等伯の障壁画があることで有名ですが
「利休好みの庭」としてお庭もとても素敵です



散紅葉がきれいでした
苔がとても鮮やかに見えました
ここは、血天井で有名なお寺です



この時計が時を刻んでいたころ
どんな人がこの時計を眺めたのだろう
そんなロマンを、この先たくさんの人に伝えるのだろうね



お正月の顔、葉牡丹

花屋の店頭で見かけると、ああ師走だなあと感じます

雪の銀閣



この年は12月から雪が降り、あわてて雪の銀閣を撮りに行きました
銀閣は月夜がいちばん美しいと言われるけれど
雪の銀閣も勝るとも劣らず、素晴らしいと思います



吉田山の山頂にあるカフェ
雪のときに立ち寄りました
東は大文字山、西は京都市内が眺められます



夕方、雪がやんだので出かけました
まだ紅葉が散る前の雪に、残ったもみじも寒そうでした

日の入り



清水の舞台から西山を見たら、ちょうど日の入りでした
ぱあっとオレンジの光を放ちながら、白い景色を染めていました

明日もなんだかいい予感



夕日に照らされ、空もピンク色に
明日もなんだかいい予感



岩絵の具じゃなくて…こういう固形絵具はなんというのでしょうか？

独特の色合いをしていますね



とある百貨店のディスプレイ、くまツリー
かわいいなあ〜、とばかり



12月31日

八坂神社へおけら参り

無事に一年過ごせたお礼をしにいきます